

HILL WIND

7

ものをまじめに見ようとする、どこまでも、どこまでも焦点が合わないことにあらためて気がつく。ものをきっちりと見ることは人間には許されていないのかもしれない。文章を読むなんてことは文字の形をいいかげんなところで妥協して認識する、その連続した行為だ。美術作品もだいたいに見えていない。だから何度もうろろと見るのだろうし見なければいけないのだろう。そして何回おなじものを見ても必ずあらたな何かが見つかる。(Ty)

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM NEWS
三重県立美術館ニュース